

平成31年1月10日

小笠原村 渇水対策本部設置について

小笠原では7月から少雨傾向が続いており、父島ではダムの貯水率が45%を切りました。小笠原はダム以外に適当な水源がなく、また本土から1,000kmも離れているため他の地域からの応援給水も望めません。

このまま降雨量が少ない場合は、今年の4月初旬頃にはダムが枯渇すると予想されます。

村では平成31年1月4日付で「小笠原村 渇水対策本部」を設置し、前回の渇水対策を踏まえ早めの対応を進めております。

以下に現在のダムの貯水率と、今後の渇水対策についてお知らせいたします。

1. ダム総貯水率(1月10日付)

[父島]：40.9% [母島]：65.6%

2. 今後の渇水対策について（父島）

1) 減圧給水の実施

- ・集合住宅 1/8（火）、9（水）より開始します。
- ・各家庭 1/10（木）、11（金）より開始します。

2) 大村海岸、扇浦、小港の各海岸施設内のシャワー停止

- ・1/8（火）より停止しています。

3) 村保有 海水淡水化装置（70 m³）の設置

- ・1月中旬から稼働に向け準備を行います。
- ・2月3日便にて技術員が来島して装置の設置・調整を行います。
- ・2月8日頃稼働予定です。

4) レンタル海水淡水化装置（230 m³）の追加設置

- ・2月中に稼働できるよう準備・調整中です。

※海水淡水化装置設置場所につきましては、別紙1「海水淡水化装置 設置位置について」をご確認ください。

ご不明点・ご相談の際は、建設水道課（04998-2-3115）までご連絡ください。

大変ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

小笠原村役場 建設水道課